

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) M.D.

所属 (School) 応用生命科学類

学年 (Grade) 2年

留学先 (Name of overseas institution)

マレーシア

留学期間 (study abroad period)

3週間

記入日 (Date) 2017/09/10

留学レポート Study Abroad Report

わたしが今回このプログラムに参加したいと思ったのは、大学に入って受験のためではない英語の勉強に楽しさを感じ始めたからです。今行くことによって自分に足りない能力を見つけ、これからの学習に生かせるのではないかと思います。また、マレーシアを選んだ理由として、以前本を読んで興味をもったイスラム文化をこの目で見てみたいという点と、英語を勉強しながら身につけた人たちと話してみたいという思いがあったからです。

マレーシアでは日本人か韓国人3人に対して、マラヤ大学のバディが1人ついてくれて、サポートしてくれました。同じ部屋に住んで一緒に活動することも多かったので、私たちのことをよく理解してくれて、わからないことや困ったことも話せば解決してくれました。平日の午前は英語の授業、午後は文化体験、休日はバスに乗っていろいろなところに出かけました。授業は自分で話したり書いたりすることが多かったです。私はあまり英語が得意なわけではありませんが、友達や現地のバディに助けられながら楽しく授業に参加することができました。昼食の後は、ダンスを習ったり、小学生と遊んだり、マレーシアの料理を作ったりしました。マレーシアのことを知るとともに、実際の活動の中で英語を使ういい機会でした。学校が終わってからは、バディがショッピングモールや流行りのレストラン、ナイトマーケットなどいろいろなところに連れて行ってくれました。マレーシアならではのおいしいご飯がいっぱい食べられました。また、普段の大学生活のことを教えてくれたり、他愛のない話をしたりしました。休日には、プトラジャヤ、ツインタワー、マラッカなど様々な観光地に連れて行ってもらったり、農村でホームステイをしたりしました。マレーシアだったからこそ学べたことがたくさんあったと思います。



わたしはこのプログラムの一番の魅力は、100人以上のたくさんの人と出会い、交流できることだと思います。マラヤ大学の子たちはみんな英語も上手で賢かったです。それでも謙虚でたくさん努力をしていました。また、私のバディは人生や国の問題について私たちに話してくれました。自分の考えをしっかり持っていて感心させられました。一緒にプログラムに参加した韓国の子たちは英語の文法や語彙の知識が豊富でした。また、日本人やマレーシア人にも積極的に話しかけたり、ジョークを言ったり、コミュニケーション能力や人を楽しませる力に驚かされました。日本人も、出身も勉強していることもみんな違うため、私の知らないいろいろな話を聞くことができました。英語が上手な子や、しっかりと自分の意見を言ったりできる子も多く、わたしも負けていけないという気持ちにさせられました。また、楽しいことはもちろん不安なことや大変なことを共有して、とても仲良くなることができました。全員と話せたわけではないけれど、みんな尊敬できる人ばかりで、自分ももっと頑張らないといけないと思うことができました。

海外に行ったことのない私にとって、このプログラムにはとても勇気がいりました。自分の英語やコミュニケーション能力に自信もなく不安も大きかったです。けれど、現地のバディはとても親しみやすく優しい人たちばかりだったし、困ったときにはみんなが助けてくれました。3週間はとても短いけど、たくさんのお会いがあり、新しい発見があり、目標が見つかり、とても充実した日々を過ごすことができました。本当にこのプログラムに参加できて本当によかったと思っています。

